

【がん種】 [乳癌](#)  
 【レジメン名】 Olaparib  
 【登録番号】 100153  
 【1コースの期間】 連日  
 【投与間隔調整規定】 なし  
 【総コース数】 術後補助:1年間まで、進行・再発:PDまで  
 【催吐性リスク】 中等度～軽度:リムパーザ  
 【抗がん剤の組織障害性】 -  
 【投与量に制限のある薬剤】 なし  
 【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、疲労、間質性肺炎、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚異常、下痢、便秘

【必要な検査】 一般採血  
 【根拠論文】 N Engl J Med 377:523-533, 2017. N Engl J Med 2021;384:2394-2405.  
 【点滴の時間】 -  
 【その他】

対象患者:【全適応共通】BRCA遺伝子変異+かつHER2-例。【術後補助】アントラサイクリン若しくはタキサン、またはその両剤による術前 or 術後補助を実施した再発高リスクの症例  
 (【術前化学療法実施例は① or ②に該当する場合】残存浸潤性乳癌があり、①ER-かつPgR-例、②CPS+EGスコアが3以上であるER及び/又はPgR+例。【術後補助化学療法実施例は③ or ④ or ⑤に該当する場合】  
 ③ER-かつPgR-かつpN1以上、④ER-かつPgR-かつpT2以上かつpN0、⑤病理学的なリンパ節転移が4個以上であるER及び/又はPgR+例)、【進行・再発】アントラサイクリン、タキサンを含む化学療法の治療歴がある。

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日
					連日
1	リムパーザ錠	300 mg/回	内服	1日2回	○/○

【Olaparib減量・休薬・中止基準】

リムバーザ錠添付文書 2022年8月改訂(第4版).

リムバーザ休薬・減量・中止の目安.

減量	リムバーザ
1段階	250mg/body/回
2段階	200mg/body/回

有害事象	Grade	用量調整
貧血	3 $\leq$	ヘモグロビン値 $\geq$ 9g/dLに回復するまで最大4週間休薬する。 ・1回目の再開の場合、減量せずに投与する ・2回目の再開の場合、1回250mgを1日2回で投与する。 ・3回目の再開の場合、1回200mgを1日2回で投与する。
好中球数減少	3 $\leq$	Grade 1以下に回復するまで休薬する。 ・1回目の再開の場合、減量せずに投与する ・2回目の再開の場合、1回250mgを1日2回で投与する。 ・3回目の再開の場合、1回200mgを1日2回で投与する。
血小板数減少	3 $\leq$	Grade 1以下に回復するまで最大4週間休薬する。 回復後、減量せずに投与する。
間質性肺炎	症状はあるが酸素投与は不要であり、生活動作に制限がない 症状があり、酸素投与が必要あるいは生活動作に制限がある	症状がなくなるまで休薬し、減量せずに再開する。 中止し、再開しない。
上記以外の副作用	3 $\leq$	症状がなくなるまで休薬し、減量せずに再開する。